

多自然川づくり取り組み事例

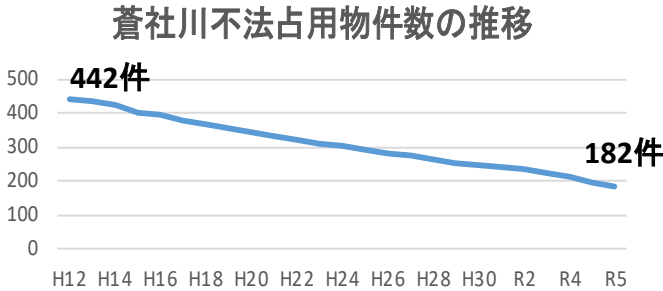
|                                           |               |                |
|-------------------------------------------|---------------|----------------|
| タ イ ト ル : 魅力的な水辺空間を目指した蒼社川下流域における取り組みについて |               |                |
| 水系 / 河 川 名 : 蒼社川水系/蒼社川                    |               | 河 川 分 類 : 中小河川 |
| 河川の流域面積: 102.8                            | 整備計画流量: -m3/s | セグメント: -       |
| 事 業 : 環境整備                                | 事業開始年度 平成13年度 |                |
| 目 標 設 定 : 定性的                             | 段 階 : P(計画時)  |                |
| 課題・目的(主な): 水辺へのアクセス改善、その他                 |               |                |
| 工 法 ( 主 な ) : 護岸整備、樹木伐採、除根、その他            |               |                |
| 配慮事項(主な): 河川景観への配慮、委員会、協議会等の開催            |               |                |

背景・課題、目標設定

【蒼社川下流域デザイン構想】

今治市を流れる蒼社川では、戦後の混乱期に応急対策として建てられた家屋等が多くあり、それら不法占用されている家屋に対する撤去を県単独事業により実施することにより、重要水防箇所等において護岸整備を推進し、早期に地域住民の安全性を確保する。

また、不法占用物件は治水上、防災上支障となることはもとより、近年ではyoutubeにおいて、「蒼社川不法占拠スラム」として取り上げる動画が投稿されるなど、風評の視点においても問題となっており、早急な対応が必要である。



グラフ-1 蒼社川における不法占用物件数の推移



不法占用家屋状況写真

【撤去により目指す将来像】



取り組み内容・対策例 (1/2)

不法占用対策に取り組むため、今治市、警察等の関係機関と平成13年度に蒼社川環境整備促進協議会を設置。

R5年度より不要占用物件撤去後の跡地利用に関する蒼社川再生プロジェクトを策定。

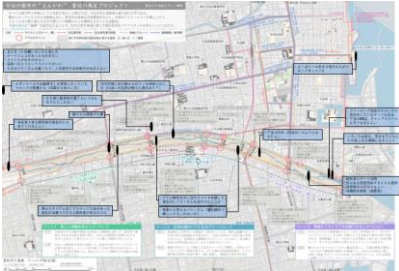
第1回  
(2024年3月13日)



第2回  
(2024年4月15日)

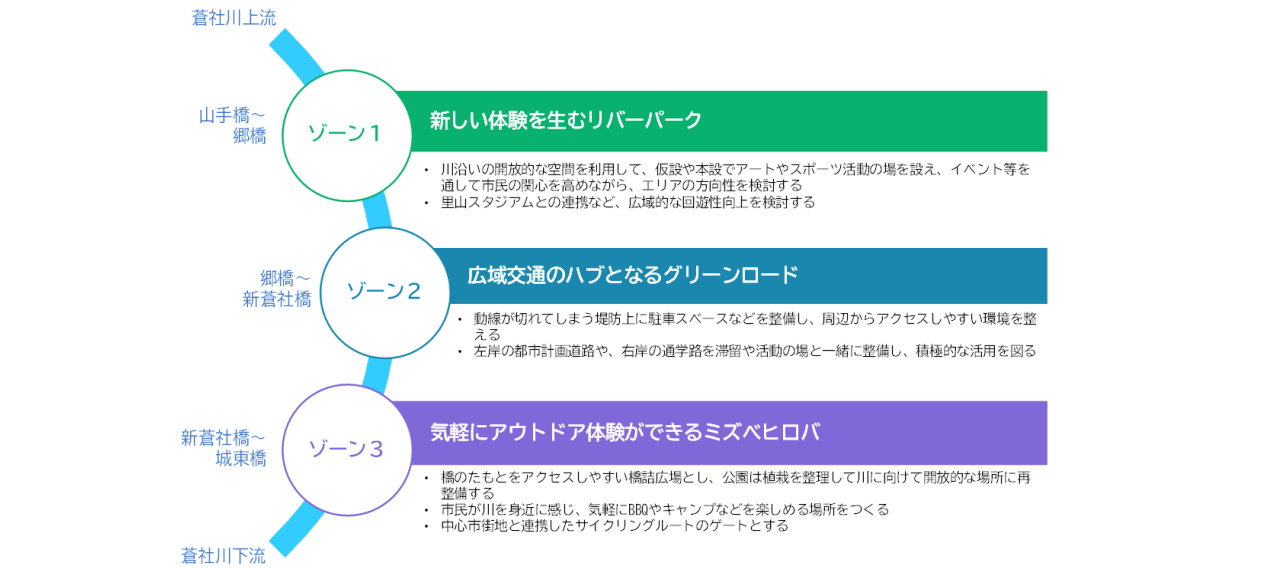


第3回  
(2024年6月3日)



取り組み内容・対策例 (2/2)

蒼社川の対象エリアについて、「新しい体験を生むリバーパーク」、「広域交通ハブとなるグリーンロード」、「気軽にアウトドア体験ができるミズベヒロバ」の3つのゾーンに分けて活用の方針を設定しました。



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針【アピールポイント】

ゾーン1



スポーツイベントの拠点

- ・ 広い河川敷を活用してスポーツのできる広場を整備
- ・ サイクリングロードを通じた里山スタジアムとのつながりを生かし、FC今治と連携したスポーツイベントを実施

ゾーン2



川に近いイベント広場

- ・ 左岸の榎橋近くは、川に近づける河川敷を活用して規模の大きいイベントにも対応可能な広場を整備
- ・ 榎橋から活動・賑わいが見えるように広場・駐車場の機能を配置

ゾーン3



活気と賑わいのある広場

- ・ 左岸の公園は、中心市街地からのアクセスの良さを生かし、自然の中でキャンプやBBQを楽しむ広場を整備
- ・ 既存の遊具を活かし子どもたちが安心して遊べる環境を整備

備考